



週報Rotary



所沢西ロータリクラブ
RI第2570地区第3グループ

会長：高橋 和男 副会長：須澤 一男
幹事：荻野 陽一 会長エレクト：石井 秀夫
クラブ管理運営委員長：本橋源太郎

例会場：〒359-1127 埼玉県所沢市星の宮1-3-5ベルヴィザ・グラン TEL.04-2923-4122
事務局：〒359-1143 埼玉県所沢市宮本町2-22-25角田ビル3F TEL.04-2926-1666
例会日：毎週火曜日 (PM12:30~13:30) FAX.04-2926-5151
E-mail nishirc@dream.ocn.ne.jp Site <http://www.tokorozawa-nishirc.net>

4つのテスト ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか
1.点鐘…会長 2.斉唱…ロータリーソング 3.来賓紹介 4.会長・幹事報告 5.委員会報告

第 1567 回例会 2019・9・3

ニコニコ 本日 18,000 円 累計 177,000 円

卓 話	例会当番	記念祝福
9/3 神田 紅佳様 9/10 埼玉県議会議員 岡田 しずか様 9/17 例会取消 9/15 敬老の日 9/24 例会取消 9/23 春分の日	内田 学 内野 忍	9月会員誕生 堀江 大 荻野 陽一 本橋源太郎

■出席報告	
月 日	8/20
会員数	30
出席者	24
出席率	80%
前回修正	—

会長の時間

高橋 和男



皆さんこんにちは、先週の例会でローターの「職業奉仕」を掘り下げて話した中で、「もしかしたら『奉仕』という言葉自体が私たちの概念とは違うものではないか」ということで、宿題にさせていただきましたが、少しだけわかりましたので、今週は、ローターでいう「奉仕」の意味・概念を、また受け売りですが話させていただきます。

まず、皆さんもご存知のローターの中心思想である「奉仕の理想」は、「ローター綱領」の中にある“Ideal of Service”が直訳された言葉です。Idealとは「理想」という意味ですが、Serviceという言葉の日本語訳として「奉仕」という言葉がその意味に近く、

他に適切な言葉がなかったので、訳語としてあてられたのですが、「奉仕」は Service という概念を正確に表現していません。米山梅吉さんをはじめ、ローターの先人たちの中には Service に適当な日本語訳はないので、むしろそのまま「サービス」として用いるべきだという方も多くいらっしゃいます。また、日本語となってしまった「サービス」という言葉が、「おまけ」「お得」「無料」的な意味に使われているのも、Service の正しい理解を妨げています。

“Ideal of Service”という言葉で英語圏の人が頭に浮かべる概念と同じ概念を私たちが「奉仕の理想」という言葉で頭に浮かべるには、Service の概念をしっかりと理解する必要があります。Service の動詞形は Serve で、どういう動作を称して Serve かといいますと、「人と地域にニーズ(needs)があり、そのニーズを満たしていこうとする行為」を Serve というのです。皆さんお解りであると思いますが、「ニーズ」とは「需要」であり「需要」とは「必要としていること」です。例えば、バレーやテニスで最初に打つボールをどうして Serve というのかと

ますと、ボール遊びをしたいというニーズがある。そして構えてボールが来るのを待っている、そのニーズを満たす行為とは、そこへボールを提供することであるから、最初にボールを提供する行為を **Serve** というのです。レストランでの **food Service**、病院での **medical Service** もそれぞれそこを訪れる方のニーズを満たす行為をいいますし、行政サービスも市民のニーズを満たすためですから、**civil Service** といえます。要するにニーズ(需要)に応える行為を **Service** というよう

です。以上の概念をもとに、「クラブ奉仕」とは、クラブ内の需要を満たすための行動、「社会奉仕」とは、社会の需要を満たすための行動、その活動の場が国際的であれば「国際奉仕」、「職業奉仕」とは、職業にかかわる需要を満たす行動、と解釈すればなんとなく府が落ちる気がします。

そしてそれらの行動を起こす場合のローテーションとしての指針・道標・裏付け等が「ローター綱領」「ローター行動規範」「ローターの職業宣言」であり「四つのテスト」であると思います。

以上簡単に説明させていただきましたが、お解りいただけただけでしょうか？

少しでもお解りいただき、これからのローターライフにお役立ていただければ幸いです。

以上で本日の会長の時間を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

幹事報告

荻野 陽一

🍷 米山梅吉記念館 館報 2019 秋号 Vol.34

🍷 エンドポリキャンペーン 一緒に行動しましょう！

日本スリーデーマーチ 10km ウォーキングに参加

11月3日(日)9時集合 東松山市立松山第一小学校・東松山RCグース前

🍷 例会変更・・・飯能RC、入間南RC、所沢RC

🍷 週報・・・所沢RC

ニコニコボックス

木下 精基

高橋 和男 谷本様 今日ではよろしくお願ひします。

荻野 陽一 所沢航空発祥記念館 副館長 谷本嗣英様 本日の卓話よろしくお願ひ致します。

須澤 一男 谷本様 本日は御多忙のところ卓話に来てくださりましてありがとうございます。こんなに早く アンリ・ファルマンが里帰りできたのは谷本さん達のお陰です。

室伏 秀樹 T・G・B(所沢グリーンベースボールクラブ)の全国大会出場と1回戦勝利を祝します。突然の豪雨、栗原さん傘ありがとう。谷本さん卓話よろしくお願ひします。

石井 秀夫 所沢航空発祥記念館 副館長 谷本 嗣英様本日は有難うございます。どうぞ宜しくお願ひ致します。

内田 学 所沢航空発祥記念館 谷本様本日は宜しくお願ひ致します。子供が小さい時、お世話になりました。そのうち又、お邪魔します。

師岡 友次 副館長 谷本様 本日の卓話宜しくお願ひします。

木村 孝子 久しぶりの例会です。卓話 宜しくお願ひ致します。楽しみにしております。

中 毅志 先週は卓話でお世話になりました。有難うございました。谷本 嗣英様本日の卓話楽しみにしています。

本橋源太郎 谷本様 本日は宜しくお願ひします。

和記 毅 谷本 嗣英様 本日の卓話宜しくお願ひ致します。

金岡 悟 先週 病欠しました。本日の卓話 谷本様宜しくお願ひ致します。

木下 精基 谷本 嗣英様本日の卓話宜しくお願ひします。

本橋 正夫 先週休ませていただきすみません。勝てませんでした。残念です。またよろしくお願ひします。

堀江 大 前回欠席。

山田 富男 本日早退します。



卓話 ～アンリ・ファルマン機の里帰り～

所沢航空発祥記念館
副館長 谷本 嗣英



1911（明治44）年の所沢飛行場開設の後、日本は操縦や整備など航空人材の育成を図るとともに国産技術による航空機製造・開発を進めようとしてきました。しかし航空分野の重要性を鑑みた際の自国技術の遅れを認識したことから、1918（大正7）年、駐在武官を通じて、第一次世界大戦で共に連合国として戦っていた航空先進国フランスに対し、最新の航空機材調達と教育者の派遣を要請しました。当時の仏首相クレモンソーは、それらを承認したうえ、派遣・滞在費用を仏国側負担とする「フランス航空教育団（以下教育団）」を送ることを決定し、翌1919（大正8）年に実現しました。



教育団は、何れも優れたパイロット、技術士官・下士官、航空機製造の指導者・監督者ら60余名によって構成され、団長にはジャック・フォール中佐（日本滞在中に大佐昇進）が任命されました。

2019年は、教育団来日100周年にあたります。教育団によって日本の航空技術・航空産業の礎が築かれたという功績を後世に伝え記録するため、「フランス航空教育団来日100周年記念事業実行委員会」が組織され、幾つかの記念事業が計画・実施されています。そのひとつに「アンリ・ファルマン機展示

公開」があります。

アンリ・ファルマン機は、1910（明治43）年に日本初の動力飛行を記録した往時のオリジナル部分を残し現存する貴重な飛行機です。同機は日仏の空の繋がりを顧みる原点であるので、深く所縁を持つ日本の航空発祥の地に立地する所沢航空発祥記念館において、青少年を中心とした一般の方々に展示公開することが、わが国の航空発展に尽力した先人の足跡と日仏の航空分野における深い結びつきを知っていただく場となるとともに、空と空に関する技術や文化への興味関心の喚起に繋がる機会となります。展示公開の実現にあたっては、記念事業実行委員会、埼玉県、そして所沢航空発祥記念館が連携をとりつつ、同機の所有者である航空自衛隊への説明・確認のもと実行計画を策定しました。



同機は1910（明治43）年、徳川好敏陸軍大尉が飛行機操縦技術習得のため訪れていたフランスで買付けられ、同年12月19日に代々木練兵場での初飛行の後、わが国初の飛行場である所沢飛行場において飛行訓練等に使用され、退役後は陸軍所沢飛行場内に保管されていました。が、第二次世界大戦終結時にアメリカに接収され、1960（昭和35）年5月、日米修交100年及び日本の航空50年を機に返還されました。

それから2006（平成18）年まで、東京千代田区神田の交通博物館に展示されていましたが、同館の鉄道博物館への移転リニューアルにあたり航空自衛隊に返却され、入間基地修武台記念館に収蔵されました。

この度航空自衛隊からの貸与が叶い展示公開となりました。所沢には74年ぶりの里帰りとなります。

今週の担当 小久保 昇